



ら♪ら♪ら通信

ゴールデンウィークの町の賑やかさが過ぎ、暖かくなったせいもあって今度は動物たちが動き出す！キツネやリスが道路を横切り、飛び出してきたシカとぶつかったという話も聞こえてきます。他に車のいない夜道ではクラクションをちょっと鳴らしたり、山へ入る際は熊鈴やラジオの音で人間がいるのを動物たちに知らせる安全策していきたいですね。



TOPIC 01 4月のつなカンミーティングを行いました

川原湯「ギャラリー&カフェ ハナカシワ」で、つなカンミーティングを行いました。つなカンチャレンジ「スマホ教室」の報告会を行い、長野原町の高齢者の生活環境について、情報交換を行いました。

(※報告内容については、ら♪ら♪ら通信22号に掲載しています。)

高齢者へのお弁当の配布が見守りにもなっているが、様々な情報が行きわたらないなど、以前から出ている、町中に情報を届けるのが難しい等の話や、区費・消費などについての理解の不足についての話に繋がりました。そういったことを解決する第一歩として、長野原町では、行政、防災、道路、店舗等の情報が閲覧できるアプリの開発に着手しているという情報提供もありました。また、移住者への助けともなるであろう、町の詳細情報が分かる冊子を作る話も進んでおり、情報伝達の大きな第一歩として今後が期待されます。

【次回のつなカンミーティング】

5月は「つなぐカンパニーながのはら」定時社員総会と合わせ、会員限定ミーティングとさせていただきます。

TOPIC 02 長野原町花いっぱいプロジェクト 町内からたくさん植物を頂きました！



4月24日に今年初めての作業を行い、花植えだけでなく、低木類を植えるための穴掘りなども頑張りました。今回町民の皆様へ植物の寄付を募ったところ、20軒のお宅から、たくさんのお花や木を譲って頂き、公園内に植えることができました。

福寿草、レンギョウ、サツキ、アヤメ、ジャーマンアイリス、アジサイ、アスチルベ、スミレ、フロックス、カンパニュラ 等

↑提供頂いた皆様本当にありがとうございました！

(まだ引き取りに伺っていないお宅は、5月の作業に向けておじゃまします。)

次回の作業 >> 5月22日(日) 10:00～ ハツ場林ふるさと公園
13:30～ 温井沢桜公園



TOPIC 03 4/16 なっから歩くんべえin林

前夜までの雨が嘘のように、当日は晴天に恵まれ素晴らしいツアーを実施することができました。カタグリの花が見ごろを迎えています。半数の方が、林地区を歩くのは初めて。「いやぁ～林って歴史深くて驚いたよ。」「生まれも育ちも長野原町ですが、初めて林を歩きました。いつもは車で通り過ぎてますが、こうやって歩くと知らない事がたくさん!と実感しました。色々な人に紹介したいです。」などの感想をいただきました。全員約8キロ完歩!お疲れさまでした。



TOPIC 04 早朝!ハッ場ダム見学ツアー

「早朝!ハッ場ダム見学ツアー2022年4月」を行いました。ダム見学後、ハッ場発電所を見学しました。嬬恋村から参加した方は「ダムも発電所も、素晴らしい施設で驚きの連続でした。大切な役目を担っているダムや発電所を、多くの人に見てもらいたいです。」と感想をいただきました。

次回 >> 5月19日(水) (受付 5/11~13)
6月8日(水) (受付 6/1~6/3)



読み札【ね】
～南木山～



浅間山北麓一帯を、昔は「南木山」と呼んでいた。その名の由来は諸説あるが、日本武尊の伝説に由来するとも伝えられている。江戸時代の南木山は殆どが幕府領だった。その範囲は広大で鳥居峠から大洞山にまで及び、周囲の村民が生活のために採草伐木などを許された入会地だったが、その権利をめくり度々紛争が発生した。天明3年の浅間山の大噴火は南木山に甚大な被害をもたらした。明治時代には国有林となり、入域が制限されると払い下げ運動が起こった。

同じ頃国策により、綿羊の供給と軍馬の養育地として北白川宮能久親王が放牧場を南木山に開設した。親王の没後に南木山一帯が民間に払い下げられたことにより、開拓地一帯は草軽電鉄や亀沢牧場、浅間牧場などの所有となり、本格的な開発が進むことになる。南木山の歴史については、昭和39年に発行され長野原嬬恋両町村に全戸配布された「南木山史話」に詳述されている。機会があればぜひ一読を。(黒岩巧)



昔は浅間山北麓一帯を「南木山」と呼んでいました

読み札【へ】
～北軽井沢～



北軽井沢は、夏期の冷涼な気候とともに雄大な景観に恵まれ、全国でも有数のリゾート地として数

多くの観光客や別荘客を集めてきた。北軽井沢の別荘の始まりは、大正12年に東京大学の関係者によって作られた「一匡邑」と言われている。昭和3年には法政大学学長松室致が「法政大学村」を開いた。戦後、観光・保養地として人気を集めるようになり、大手資本が開発を手掛けるようになった。テニスブームの頃にはテニスコートもたくさんありラケットを持った大学生が闊歩し、バブル期にはリゾート地として人気が高まりマンションや別荘・ゴルフ場が作られ、多くの観光客が押し寄せた。この頃GWやお盆期間には道路が大渋滞し、北軽井沢から軽井沢まで普段は30分程度のところ、2～3時間掛かったりした。北軽井沢は夏でも30℃を越えることはほとんどなく、北軽井沢の人間は「軽井沢は暑い!」と言うのは、北軽あるあるだと思う。(黒岩巧)

読み札をめくりながら長野原町の魅力再発見!

長野原町かるためぐり



お問合せ 一般社団法人つなぐカンパニーながのほら 事務局

群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯223番地5 (川原湯温泉あそびの基地NOA内)

Tel.0279-82-5895(代表) Fax.0279-82-5896 info@tsunacom.or.jp

